

研究機関(大学等)の集落支援取組調査

1)研究機関(大学等)の集落支援取組調査

- 九州圏の小規模・高齢化集落への支援を今後検討していく上で、その役割が期待される研究機関(大学等)の集落支援への取組可能性について把握するためのアンケート調査を実施する。
研究機関の抽出にあたっては、九州圏の集落支援に取り組む可能性のある大学・短期大学・高専において、地域連携の常設機関を有している大学の研究者(室)を対象としたアンケート調査を実施する。

○観点①九州圏の集落支援を組織的に行うことが可能な研究機関
九州圏の集落支援が容易である九州・山口の大学・短期大学・高専

○観点②集落支援の可能性のある常設機関を有する
地域連携(協働的な取組)を目的とした常設機関がある

○観点③研究者(室)単位の情報収集
地域連携において中心的な役割を担う研究者個人(研究室単位)を対象



研究機関により集落支援取組調査のためのアンケートを実施

配布・回収：郵送による配布・回収を実施する。
対象機関数：46大学、23短期大学(高専含む)

2)研究機関(大学等)の集落支援取組調査のためのアンケート調査票

○九州圏内の研究者の集落支援(研究実態)を把握すると共に、今後の集落支援に関する協力可能性(意向)や集落の存続・維持の施策において不足していると感じている事柄についての意見をいただく。アンケート調査票の構成は以下の通りである。

◇アンケート調査票の構成◇

①集落を対象とした研究の実態

○研究組織の実態、研究の対象地、研究内容について

②今後の研究意向

○集落を対象とした今後の研究(取組)意向とその集落名

③集落研究(支援)を行っていく上での課題

○今後集落支援を実施する上での課題(人材・組織、予算、施策効果、支援分野等)

④その他(要望・協力可能性・アイデア等)

○集落支援(要望)を行う上での要望・協力意向について